

ダイナミックに変化する離島

硫黄島の地図の比較

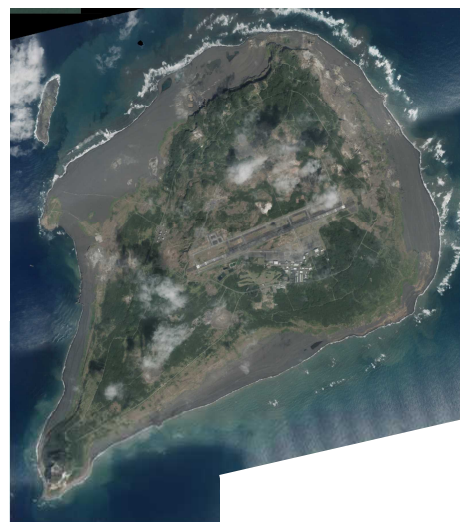
近年大きな隆起が観測されている硫黄島について、令和4年1月26日撮影の空中写真及び現地測量結果を基に、海岸線や等高線を含め地図を全面的に描き直しました。

今回の更新により、従来の地図（平成27年刊行）と比較して硫黄島の面積は約1.3倍となり、約6km²（東京ドーム約130個分）増加しました。また、一部の海岸線は海側に最大約800m前進し、基準点の標高は8m以上高くなりました。

従来の地図（平成27年刊行）

全面更新した地図（令和5年刊行）

地理院地図（写真）

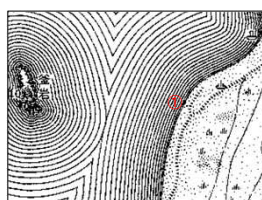


従来の地図から計測した面積：23.73km²

更新した地図から計測した面積：29.86km²

令和4年1月26日撮影の空中写真

硫黄島の変化（釜岩と硫黄島周辺）



明治44年 5万分1地形図



昭和44年 2万5千分1地形図



平成27年 2万5千分1地形図



令和5年 2万5千分1地形図

①海岸線の前進

釜岩と硫黄島がつながるなど、海岸線が大きく前進

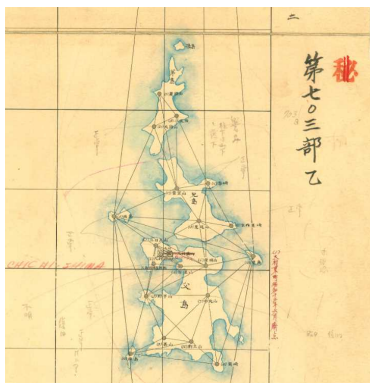
②平和祈念墓地公園付近の等高線から確認した標高

- ・昭和44年 25～30m
- ・平成27年 25～30m
- ・更新した地図 40～50m

陸地測量部時代から続く離島測量

明治43年に前身の参謀本部陸地測量部において離島三角測量の特殊実行法が制定され、翌年の小笠原諸島から測量が開始されました。その後、国土地理院においても、我が国の領土・領海等の明示及び保全のため、離島において三角点の整備を進めています。

三等三角点網図
明治44年小笠原地区の一部分



昭和48年 長崎県男女群島

離島作業
余話

絶海連島に於ける作業にして、風浪の險、瘴癘^{けん}の毒及び蛇蝎^{しようれい}の害等あり。・ ・ ・ ※1 伝染病、風土病 ※2 ヘビ、サソリ

三交会誌第二号 大正2年 鹿児島県大島郡及び沖縄県地方